**「自動化フォルダ」注意事項 (最終編集日：11月12日)**

**最終編集内容**

・「検品チェック」作成

・「箱番作成」仕様変更

**・目次**

[**・使用手順** 3](#_Toc182313777)

[**・「メール送信」** 8](#_Toc182313778)

[**・「店舗出品リスト」** 10](#_Toc182313779)

[**・「入札貼付」** 11](#_Toc182313780)

[**・「箱番作成」** 12](#_Toc182313781)

[**・「カタカナ変換」** 14](#_Toc182313782)

[**・「差額チェック」** 17](#_Toc182313783)

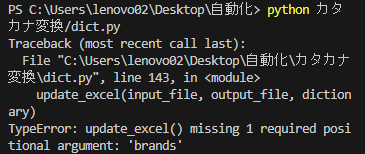
[**・「検品チェック」** 20](#_Toc182313784)

(目次はCtrl +クリックでそのページに飛べます。)

**注意点**

・何か上手くいかない事があったら必ず教えてください！

・プログラムが上手く動かなかったとき…  
　・この注意事項ファイルをよく読み直して、間違いがないかよく確認してください。  
　・それでも、エラーが起きる場合は、エラーメッセージが出力されていると思うので、  
　　下記写真のようにvscodeの画面のスクショを、後日共有して頂けると助かります。



### **・使用手順**

1. 検索タブを開き、「最近」にある、「Visual Studio Code」を開く。

最近になければ、「vscode」と検索する。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, Web サイト

自動的に生成された説明

1. 左側のエクスプローラーと書かれてある下から、作業したいフォルダを開く。

・下の写真では、メール送信フォルダが開かれている。

・>店舗出品リストや>入札貼付などは開かれていないフォルダ。

・フォルダが開かれると、以下の写真のように、>メール送信から∨メール送信となり、その下に開いたフォルダ内のファイルやフォルダが出てくる。

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明



もし、vscodeを開いたときに以下の写真のような状態だったら、

水色の「フォルダーを開く」を選択し、

モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

自動的に生成された説明

「デスクトップ」を開く。

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明

自動化フォルダを選択し、フォルダの選択をクリックする。

モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

自動的に生成された説明

写真のように自動化フォルダが開かれたらOK

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明



1. フォルダを開いたら、上記写真の右側で操作を進める。

まず、PS C:\Users\lenovo02\Desktop\自動化> にカーソルを合わせる。

カーソルが合うと下の写真のように、PS C:\Users\lenovo02\Desktop\自動化> の横に白いカーソルが出てくるので、この状態になったらOK。

テキスト

自動的に生成された説明

1. 実行方法

カーソルを合わせた後、

python <フォルダ名>/main.py  
のみで実行可能になりました。

それぞれ以下をコピペして実行

・メール送信

python メール送信/main.py

・店舗出品リスト

python 店舗出品リスト/main.py

・入札貼付

python 入札貼付/main.py

・箱番作成

python 箱番作成/main.py

・カタカナ変換

python カタカナ変換/main.py

### **・「メール送信」**

**必要ファイル**

・メールアドレスを検索するエクセルファイル

・送信するpdf(pdfはそれぞれ決められたフォルダに入れる事)

**実行ファイル**

・main.py

**大会別精算書メール・LINE先一覧.xlsxについて**

・連絡先欄には、メールアドレスのみ  
NG例：鳥栖店：～.jp

　メールアドレス＋何かがあると、正しくメールアドレスを認識できないので、

メールアドレス以外の補足事項は、連絡先欄の隣に補足欄として入力してください。

・電話番号はOK

**実行方法**

・各大会用フォルダに、送信するpdf, excelファイルを入れる。

・ファイル名は、<業者コード> <業者名>.pdf, .xlsx

・実行ファイルの変更部分を、各大会用に変更し、実行する。

テキスト

自動的に生成された説明

**・機能追加部分**

・メール本文をyamlファイルから読み込むように変更

・本文に日付、大会名を入れられるように変更

メール本文はこのファイルから読み込まれるので、本文を変更したいときはこのmail\_template.yamlファイルを変更してください。

**variablesについて**

メールを作成した日付を取得し、メールに載せるようにしています。

大会後日にメールを作成する場合に、dayに大会の日付を指定してください。

大会当日にメールを送る場合は、variablesのmonth, dayは””の状態で、

dayを指定するときは日付をday: “27”のように、””の間に数字で入力してください。

テキスト

自動的に生成された説明

### **・「店舗出品リスト」**

**必要ファイル**

・出品リスト原本ファイル：スプレッドシートからエクセルファイルとしてダウンロードしたもの。

・バッグ出品表

**実行ファイル**

・sell.py

・箱番ごとに実行するように実装していたものを、1度の実行で完了するように仕様を変更しています。

**実行方法**

・店舗出品リストフォルダに、貼り付けるファイルをスプレッドシートからエクセルファイルとして準備する。

・以下の写真のように、sell.pyの156行目からの変更部分にある、ファイル名とシート名が正しいことを確認して実行する。

・プログラムを実行するとsrc\_sheetの名前のフォルダが作成され、そのフォルダに作成されたファイルが格納されるようになっています。

　→下の写真の場合、プログラムを実行すると2024.07というフォルダが作成されます。

・このプログラムを毎月使用し続けていくと、店舗出品リストフォルダにエクセルファイルがどんどん溜まっていくことになるので、必要なければ適宜作成されたフォルダは削除していただくといいかと思います。

テキスト

自動的に生成された説明

### **・「入札貼付」**

**必要ファイル**

・貼り付け先ファイル

・各大会用データフォルダ

**実行ファイル**

・paste.py

**実行方法**

・貼り付けたいファイルを各大会用データフォルダに入れて実行する。

・paste.pyを開き、下の方にある使用時変更部分を各大会用に変更し、実行する。

テキスト

自動的に生成された説明

### **・「箱番作成」**

**必要ファイル**

・dataという名前のアクセスファイル

**実行ファイル**

・main.py

**実行方法**

・Accessを用いての管理に変更しました。

・新規の業者の追加、毎月の箱数の調整は全てAccessファイルの箱番作成フォームから行うようにお願いします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明



・準備が出来たら、python 箱番作成/main.pyで実行。

・箱番を割り当てて条件を満たせなかったら、上限5回までやり直すように変更しているので、おそらくエラーなく実行できると思います。

・作成された箱番への細かい調整は最後に手作業でお願いします。

箱数・条件調整方法

1. 業者コード検索に箱数を調整したい業者のコードを入力して、検索ボタンを押すとその業者のページに飛ぶ。
2. 箱数・条件を入力する。(箱数はない場合は0, 条件はない場合は空白)  
     
   グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

   自動的に生成された説明
3. 新規の業者を追加する場合は、レコードの一番最後のページに新規入力ページがあるので、そこに入力する。  
     
   グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

   自動的に生成された説明

### **・「カタカナ変換」**

**必要ファイル**

・コメ兵原本

・変換先エクセルファイル

**実行ファイル**

・main.py

**実行方法**

カタカナ変換フォルダにコメ兵原本とそれを変換したものを貼り付けるエクセルファイルを用意する。

・コメ兵の原本から、「+」を空白に変更してから実行すること。

1. 「Ctrl + F」を押して、「検索と置換」を開く。
2. 検索する文字に「+」、置換後の文字に「(スペース)」を入れて、すべて置換を押す。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Excel

自動的に生成された説明

・dict.pyのmain関数内の140行目からの変更部分を適切に変更し実行する。

　brands：辞書に使用するエクセルファイルが以下のようになっており、そのシート名を示しています。新しいブランドの辞書を追加したときにそのブランドを追加してください。  
ブランド名の追加：[]内の続きに、「, “ ブランド名 ”」… ①

　input\_file：コメ兵原本のファイル名を指定する。ファイル名をコメ兵\_原本すればプログラムを変更する必要はありません。

　output\_file：出力されるエクセルファイルです。実行前にエクセルファイルは作成しておく必要があります。(すでにあるものを上書きしてもOK)

テキスト

自動的に生成された説明

… ①

テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

**シート名**

### **・「差額チェック」**

**必要ファイル**

・集計表原本(バッグ、時計、宝石の大会名がそれぞれファイル名に入った状態)

**実行ファイル**

・main.py

**実行方法**

・差額をチェックする集計表を用意し、ファイル名を必要に応じて変更する。… ②

テキスト

自動的に生成された説明

… ②

・ファイル名からバッグ・時計・宝石のどの大会か判別するようにしているので、ファイル名にはどの大会かを入れるようにお願いします。(入れる場所はどこでも大丈夫です。)

・実行方法は、python 差額チェック/main.py

・プログラムを実行すると、ファイル名の後ろに”\_チェック後”がついたエクセルファイルが結果として返ってきます。

・結果のエクセルファイルでは、条件を満たした差額のセルが黄色に塗られています。

→ Ctrl + Fで検索可能です。

・実行後、以下のような情報が画面右側で確認できます。

テキスト

自動的に生成された説明

・セル塗りつぶしの検索方法

1. Ctrl + Fを押す。
2. “書式”を選択。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明



1. “塗りつぶし”を選択。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明



1. 背景色に黄色を選択。
2. サンプルに黄色が出ればOK

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

### **・「検品チェック」**

**必要ファイル**

accessファイル(database)、入力済みExcelファイル

**実行ファイル**

main.py

**使用方法**

**・検品済み未入力チェック部分**

**準備**

* 箱番原本から入力済み部分をコピペして、箱番作成フォルダに”入力済み.xlsx”を作成する。(基本的には既にある入力済みエクセルファイルの中身を更新)
* 検品と共にフォームを使用してデータベースで検品の管理を行う。

**実行**

* いつからいつまでのチェックを行うか確認する。  
  初回以降は、次回スタートと前回ラストが同じになるはずです。
* プログラムの変更部分で時間の範囲を指定する。  
  start\_timeに範囲のはじめを、end\_timeに範囲の終わりを指定  
  テキスト

  自動的に生成された説明
* python 検品チェック/main.py　で実行

**確認**

* このプログラムを実行すると、実行した日付のフォルダが作成され、そのフォルダ内に以下の4つのExcelファイルが出力されます。

**欠番リスト, 検品済みリスト, チェック分リスト, 未入力リスト**

* 未入力リストがメインの結果なので、基本的に今回チェックしたいのは未入力リストの結果だと思います。
* その他のリストは、何か調べたいことがあったときに有効に活用してください。  
    
  例：未入力リスト  
  **テーブル

  自動的に生成された説明**

**・Accessによる検品チェック管理部分**

**準備**

* 管理用Accessファイル(database)を開く。
* 箱番フォームを開く。  
  **グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Word

  自動的に生成された説明**

**管理**

* 検品した箱番を入力する。  
  グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

  自動的に生成された説明
* **「業者名を入力ボタン」**を押すと、ステータスと確認・やり直しボタンが出てくる。
* 検品した箱番の箱番号と業者名が正しければ**「確認ボタン」**を押す。  
  違う場合は、管理権限を持つ社員に直ぐに報告する。
* ここまでで何か間違えた場合は、**「やり直しボタン」**を押すと初めに戻れる。
* 確認ボタンを押すと、**「欠番ボタン」**と**「検品完了ボタン」**が出でくる。  
  **グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

  自動的に生成された説明**
* もう一度箱番と業者名を確認し、検品が完了したのであれば**「検品完了ボタン」**を欠番にする箱番であれば**「欠番ボタン」**を押す。
* **これで1つの箱番に対する操作は完了です。**
* **もし何か操作を間違えてしまった場合は、手を止めてすぐに報告してください。**

例：検品管理の例

**テーブル

自動的に生成された説明**